

今だけの親子時間

1歳2カ月（2023年6月）

とにかく目が離せない時期です。ハイハイとつたい歩きであちこち探索し、気に入ったものがあれば何でも口に入れてしまいます。

紙をビリビリ破ってパクリ、ということもありますし、家具などをペロッとなめてしまうこともあります。

一体いつまで「何でも口に入れる時期」が続くのかな、とそんなことばかり考えていました。

この頃、生まれた当初からレンタルしていたベビーベッドとチャイルドシートを返却しました。

チャイルドシートは新しく購入しました。その時に予想外だったのは、使用にあたって年齢だけでなく体重や身長の設定があることでした。

1歳からのチャイルド&ジュニアシートを選ぼうとしたら、子どもの体重不足が判明し、諦めました。

仕方なく0歳対応のものにしましたが、せめてもの思いで11歳までの長く使えるものにしました。

ベビーベッドは廃止し、代わりにベビーサークルを置きました。

子どもとの生活の中で、短時間ではあるもののどうしても子どもを1人にして部屋を離れないと仕方ない時があります。今までは「ちょっとごめんね」と、ベビーベッドに入れていました。

今回いろいろ検討した結果、ベビーサークルを置いてみることにしました。

ボタンを押すと音楽が鳴るおもちゃ付で、子どもも気に入ったようです。機嫌が良い時は、自分でスイッチを押して、曲に合わせてニコニコしながら体を動かしています。

肝心のサークル機能については、最初は状況が分からなかったのか、中に入れて戸を閉めてもそのまま遊んでいたのですが、だんだん回数を重ねるごとに学習していき、やがてサークルに入れた途端に泣いて嫌がるようになりました。

やっぱりそうなるよね、と落胆しつつ、それでも必要な時は、後ろ髪をひかれつつ使いました。これは、しばらくの間、非常に役立った子育てグッズでした。

春から夏にかけて、台所仕事がさっぱり進みませんでした。しきりにだっこをせがんで子どもが泣くからです。

どうしようどうしようと当初は思っていたのですが、ある時ハッと気づき、もう気にしないことにしました。

「子どもがこんなに私にべったりな時期は今だけ。甘えさせてあげればいいんじゃないか。本当に今だけなのだから。」

子どもというのはあっという間に大きくなる。後悔先に立たずだ。一緒にいたいのなら、今は一緒にいようじゃないか」と思うようになったからです。

そう思うようになって「今は子どもとの時間を最優先」と割り切り、すべきことが進んでいないストレスをずい分感じなくなりました。

2歳1カ月（2024年5月）

子どもの奇妙な習慣を紹介します。

夜眠る時のことです。ある日急に、部屋の戸を閉めるのがイヤだと言い始めました。もし閉めたなら、その途端に激しく泣いて抗議します。

赤ちゃん時代から、冷暖房をしっかり使い、部屋は締め切りがちだったので、閉じこめられるようで窮屈だったのでしょうか。理由はわかりませんが、そこまで言うのなら…と、戸は開けておくことにしました。

戸を閉められまいとの一心なのか、落ち着かないのか、子どもは布団から逃げ出し、とうとう戸に挟まって眠るようになりました。体は半分廊下にはみ出しています。毎晩です。

床は固いので、あらかじめそこに座布団を敷いておき、すっかり寝入ったら上から布団をかける、という方法でしばらく寝させました。

春とはいえ、夜はまだまだ冷えます。やがて子どもは風邪気味になってしまい、どうしたものかと気をもむ毎日がつづきました。

それから3週間ほど経過し、またいつも通りに布団で寝るようになりました。風邪も10日位ではすっかり治りました。

ただし、今も戸は開けたままです。戸を閉めるのが許せないようで、閉めると子どもが飛んでくるからです。

さいわい夜もだんだんあたたかくなってきて、私自身も寒さを感じずに眠れるようになってきました。

トホホという気持ちと子どもって何をするかわからずおもしろいなという気持ちと、半々です。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！